

## 当社原子力発電所立地町の小中学生を大阪・関西万博にご招待

2025年2月28日

関西電力株式会社

当社はこの度、福井県が策定した嶺南Eコースト計画※の「小中学生等への原子力・エネルギー教育の推進」の取組みの一環として、当社原子力発電所が立地する美浜町、高浜町およびおおい町（以下、立地町）の小中学生を、立地町と共同で大阪・関西万博にご招待します。

大阪・関西万博において、当社は未来のエネルギーを体感・実感いただける新しい取組みにチャレンジします。具体的には、原子力発電由来の嶺南産CO<sub>2</sub>フリー水素を、来場者を輸送する水素燃料電池船の燃料の一部として供給するとともに、姫路第二発電所での水素混焼発電の燃料の一部に利用し、本実証により生まれた電気を万博会場にお届けする予定です。

今回の取組みを通じて、立地町の小中学生には、身近にある原子力の将来性を万博会場で体感いただくとともに、電気事業連合会が出展するパビリオン「電力館 可能性のタマゴたち」を見学いただき、原子力・エネルギーの理解を深めていただきたいと考えています。また、万博に集まる世界の最先端技術に触れ、多様な価値観とも交流し、未来に向けた学びの機会としても活用いただきたいと考えています。

詳細が決まり次第、対象の小中学生と保護者には立地町の小中学校等を通じてご案内します。

### <実施概要（予定）>

内 容：当社と立地町が共同でバスを運行

- ・立地町と万博会場を往復、立地町よりそれぞれ4便運行、  
定員40名／便（応募が定員を超えた場合、抽選）

実施時期：2025年7月～10月

対 象：2025年度に立地町に在住または立地町の学校に在籍している  
小中学生とその保護者1名

そ の 他：電気事業連合会パビリオン「電力館 可能性のタマゴたち」見学付

※福井県嶺南地域を中心に、原子力をはじめ再生可能エネルギーを含むエネルギーを活用した地域経済の活性化やまちづくりを目指すことにより、人・企業・技術・資金（投資）が集まるエリアの形成を図ることを基本理念に、福井県が2020年3月に策定。  
当社は、事業者の立場で積極的に参画。

以 上